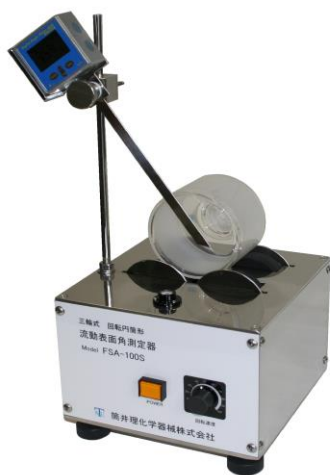


円筒回転法による 流動表面角測定器 FSA-100S 型



仕 様

使用範囲	試料 200~300mL	
回 転 数	1~15 回/分	
	無段可変(容器回転)	
電 源	AC 100V 5W	
周 波 数	50~60Hz (ご指示)	
寸 法	幅 200×高さ 360×奥行 200mm	
	本体	約 7.8Kg
重 量	円筒型試料容器	約 200g
付 属 品	円筒型試料容器	1 個
	円筒型試料容器用平栓	1 個
	円筒型試料容器用吸引コック栓	1 個
	デジタル角度計	1 台
	スプリング	2 個
	電源コード	1 本

本器は、粉体の特性を測定する一つの重要な方法として安息角と流動表面角を測定することができます。試料は流動性の良い粉、流体でなければ測定が不安定になります。付着性の粉体では粒子の自重のみによって粒子間の凝集力をほぐすことができませんから、表面の流動あるいは崩壊は断続的になります。安息角とは粉体堆積層の自由表面が静的平状態で水平面に対してなす最大角度をいい、粉体の流動特性の一つの目安になり、かさ密度（圧縮度）などと並んで粉体特性の検討に多く用いられております。測定目的により種々の方法がありますが、本器は円筒型の容器（500mL）に約半分の試料を投入し、等速低回転で回す円筒回転法です。試料は円筒型試料容器の中に入れますから、大気と完全に遮断し、吸湿したり、乾燥したりしませんから正確に測定できます。付属の吸引コック栓を使用することにより内部を減圧し、水分、有機物を排出させて測定します。また窒素、水素、ヘリウムガスなど置換して特殊雰囲気でも測定できます。回転調節は最新の電子技術を応用した無段変速制御を採用していますから故障の心配はなく長時間のご使用に耐えます。

注意 安息角は測定法により変動する試料もありますので、測定条件などを明示してください

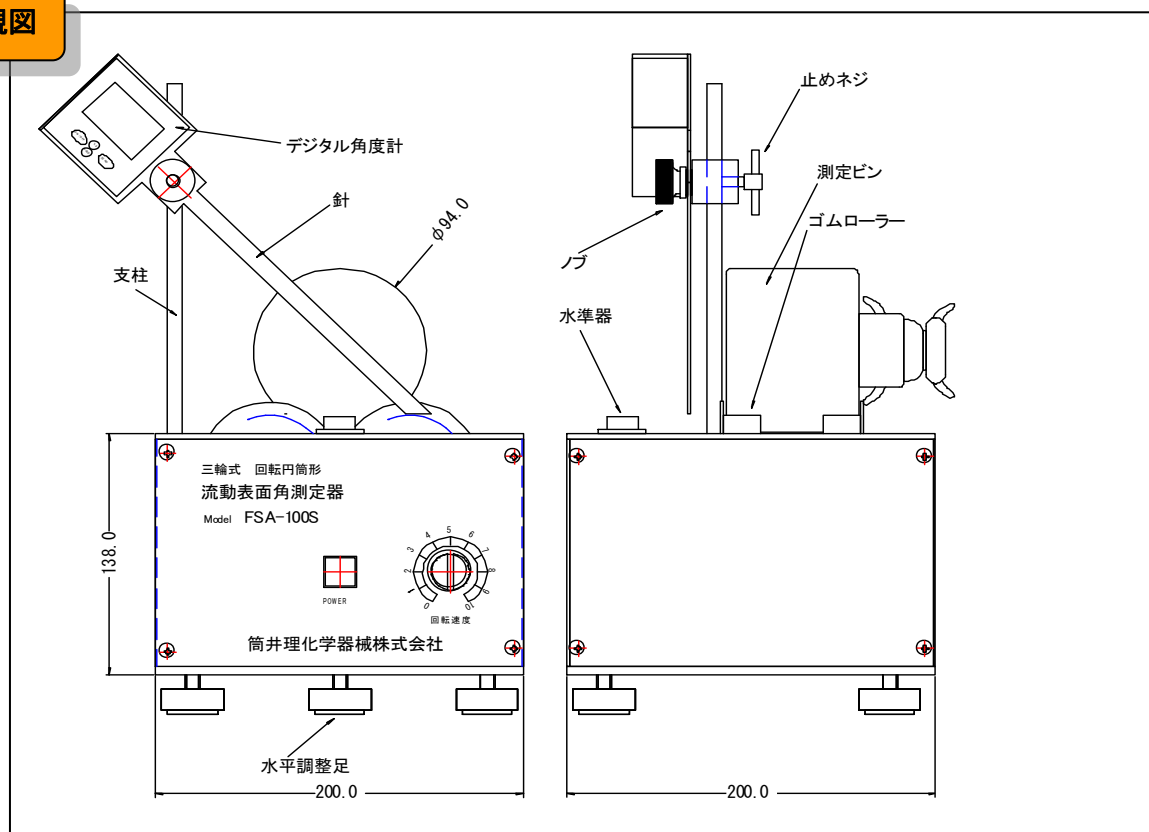
測定方法

円筒型試料容器をよく洗浄し乾燥させ、試料容器に試料を約半分入れ、蓋をして2ヶ所スプリングで止めます。試料容器を台車(四ヶ所)の上に横に乗せ本器の水平を合わせます。

電源スイッチを入れ回転調節ダイヤルを右に回して毎10回転程度に調節して表面流動角を測定し徐々にダイヤルを左に回し、回転数を毎分1~2回にしてからスイッチを切り安息角の測定をします。

注意 付着、凝集性の粉体、流動性の悪い粉体には、別の測定方法の弊社製品【電磁振動式安息角測定器 AOR-14型】又は【A.B.D粉体特性測定器 A.B.D-100型】より測定することをお勧めします。

本体外観図



筒井理化学器械株式会社

〒110-0003 東京都台東区根岸 1-1-31

TEL 03-3845-2011 FAX 03-3842-5852

URL <http://www.e-tsutsui.com/>

E-mail sales@e-tsutsui.com

2016.09